

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2025
Summer

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



- 写真上：「市内見学（東京府美術館）」「東京府女子師範学校 昭和十四年三月卒業」（1939年3月）
- 写真下：「軍事教練 査閲」『青山師範卒業記念写真帖』（1938年3月）

師範学校の展開と戦時下の様子

【会期】2025年7月2日(水)～9月26日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021年度より図書館3階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これは、東京学芸大学大学史資料室が設立から13年を経るなかで、大学史資料室の機能を一層高めるために取り組むものです。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1年間で4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えていきます。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

2025年度常設展示の年間テーマは「師範学校の歴史をふり返る」で、7月2日から第二期の展示を開始します。第二期のタイトルは「師範学校の展開と戦時下の様子」です。この展示では、1930年代後半以降の時期を中心に、戦時下における師範学校および師範学校附属国民学校の活動や日常生活について、当時の写真や資料から読み解きます。展示資料は、師範学校における勤労働員や戦時下の師範学校の活動に関する資料（東京第一師範学校男子部『出勤学徒勤労働態』や『学級日誌』、『教務日誌』等）や、附属国民学校の集団疎開に関する資料など多岐に亘ります。また1930年代後半から1940年代前半の師範学校の卒業アルバムに掲載されている戦時下における師範学校生の生活の様子や勤労働員、軍事演習・防空演習に関する写真も展示しています。

2025年は「戦後80年」の節目の年です。戦争を直接経験した世代が少なくなり、戦争を「遠い過去の出来事」と感じる人びとも増える一方で、世界に目を転じてみると、戦争が今なお現在進行形の現実であると実感します。本学前身校である師範学校もさまざまな形で戦争と関わりながら、日々の教育活動を行い、学校生活を送りました。本展示を通じて、戦時下の師範学校について考える機会になれば幸いです。

常設展示は、東京学芸大学とその前身校、附属学校園の歴史を振り返るものです。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に想いをはせていただければと存じます。

2025年7月2日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2025
Summer

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム

